

小学生対象エコ学習会

令和6年8月8日開催 児童27名参加
見学先：①トータルケア・システム株式会社
②大牟田市動物園



トータルケア・システム株式会社 リサイクル施設見学

私たちは、日ごろゴミの分別の際、リサイクルできるものは捨てずに、リサイクル資源として分別しています。ペットボトルや空き缶のリサイクルは想像できるけれど、紙オムツをリサイクルできるって、いったいどういうことだろう、児童も委員も疑問を胸に抱いて、紙オムツをリサイクルする仕組みについて学びました。



大牟田市、みやま市、大木町では医療・福祉・介護施設や家庭から出される紙オムツを回収しリサイクルしています。回収した紙オムツは「焼却処理」ではなく「水溶化処理」することで、リサイクルができるようになりました。高齢化によって今後、紙オムツの使用量、焼却処理量、焼却時に排出される二酸化炭素量も増え、地球温暖化も懸念されますが、この施設では、リサイクルすることで二酸化炭素を焼却処分時より37%削減することができます。

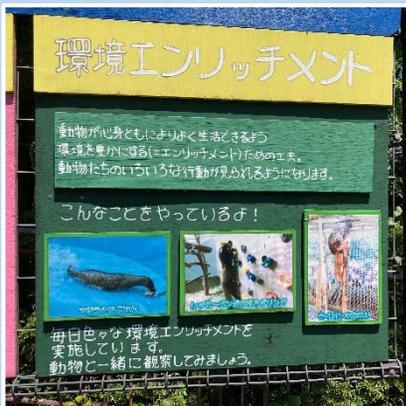
紙オムツの70%は「水分(し尿)」、残りの30%は「高吸収性樹脂・プラスチック・パルプ」が含まれています。水溶化処理とは、紙オムツに水と分離剤(塩化カルシウム)を混ぜることで、再生パルプ、プラスチック、汚泥類に分離し、再生可能な資源として取り出すことができる方法です。再資源として、建築資材、固形燃料、土壌改良剤として活用することができます。さらに使用した水の80%を循環利用しています。

再生パルプ完成品。さわってみると水分が少し含まれていて、しっとりとした感触。出荷された後は、建築資材として新たな用途で私たちの生活を支えます。



大牟田市動物園 見学

大牟田市動物園は動物福祉について学ぶことのできる動物園です。動物たちの生活の質を向上させるための取り組みや、工夫を解説したパネルが設置してありました。かわいい動物たちを間近に見ながらも、掲示物に意識を向けて動物福祉について考えました。



動物たちに協力してもらいながら行うトレーニング。国内で初めて無麻酔採血を成功させました。仕掛けを作って動物本来の運動能力を引き出す工夫も充実!

園長さんが子ども達からの質問に答えてくれました。動物ファーストに溢っていました。

児童の感想

- ・紙オムツの処理の仕方にとっても驚きました。これからこの活動が広がっていくといいと思いました。
- ・紙オムツがいくつかの資源に分けられて新しい物にいかされると知り、すごいなと思ったし、こんな身近にある物が家づくりに役立っているんだなあ〜と驚いた。
- ・動物園では園長さんからの動物愛が感じられてよかった。ライオンも迫力がありました。



ハンギングバスケット講座
石井康子先生



うしろさーくろ
苗植え付け



落花生取



エコ石けん作り



しめ縄飾り作りに挑戦



2024年度 委員会活動



- 4月21日 総会
- 5月25日 定例会
- 6月9日 ラブアース・クリーンアップ2024
雨天中止
- 7月20日 西新校区夏祭り
ダストステーション設置
- 7月25日 エコ学習
廃油を再利用したエコ石けん作り
- 8月8日 エコ学習
トータルケア・システム(株)リサイクル施設見学、
大牟田市動物園見学
- 11月16日 ハンギングバスケット講座開催
- 12月14日 しめ縄飾りづくり講座開催
- 2025年1月25日 校区内清掃・定例会
通年活動 エコ花壇野菜作り バラ花壇整備